

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 30日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県三重郡川越町豊田500番地1

氏名

株式会社ナルックス

代表取締役社長 高岡 哉史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

059-363-3333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

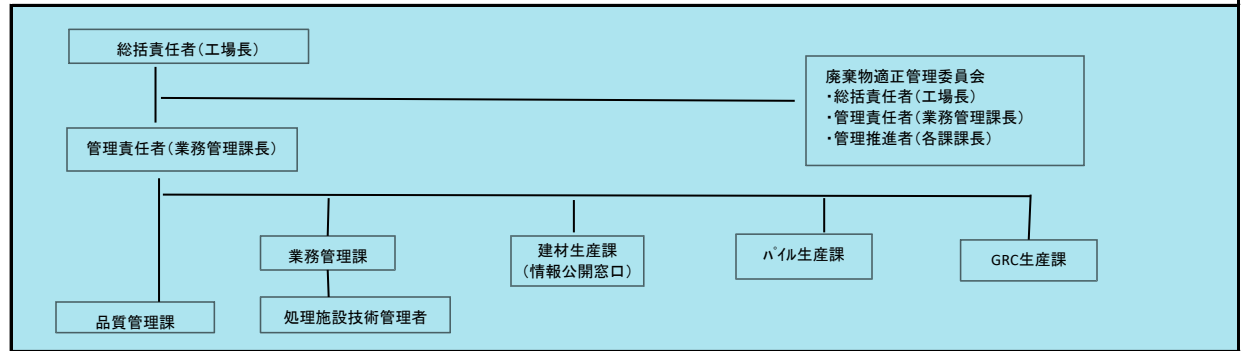
事業場の名称	株式会社ナルックス 員弁事業所
事業場の所在地	三重県員弁郡東員町長深1040
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E21 製造業/ 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	1,851百万円
③ 従業員数	90名

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>製造工程</p> <pre>graph TD subgraph Manufacturing A[鉄筋加工・組立] --> B[金物取付 タイル・石セット] B --> C[組立鉄筋 セット] C --> D[コンクリート 打ち込み] D --> E[型枠 脱型・組立] E --> F[製品仕上] G[コンクリート 練り混ぜ] --> D end subgraph Wastewater_Treatment H[設備洗浄廃水] --> I[固液分離・濃縮] J[上澄み排水] --> I I --> K[脱水] K --> L[PH調査] L --> M[放流] end F --> N[製品] F --> O[廃プラ タイル包装材]</pre> <p>鉄筋加工・組立 → 金物取付 タイル・石セット → 組立鉄筋セット → コンクリート打ち込み → 型枠脱型・組立 → 製品仕上 → 製品</p> <p>コンクリート練り混ぜ → コンクリート打ち込み</p> <p>汚泥(設備等洗浄残砂)</p> <p>型枠組立 → 先付け部品 金物・タイル・石材</p> <p>汚泥処理工程</p> <p>設備洗浄廃水 → 固液分離・濃縮 → 脱水 → PH調査 → 放流</p> <p>上澄み排水 → 固液分離・濃縮</p> <p>陶磁器くず</p> <p>陶磁器くず (コンクリートくず)</p> <p>廃プラ (タイル包装材)</p> <p>脱水汚泥</p>
------------------	--

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組)	
・プラント、製造設備の洗浄回数の低減を実施 ・残コンを利用した製品製作(場内使用ブロック、U字蓋等) ・コンクリート塊(製品)の小割による鉄筋と分離 ・梱包の簡素化による廃棄物の排出抑制(廃プラ、木くず、段ボール)		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組)	
・プラント、製造設備の整備を実施 ・型枠外へ生コンをこぼさない、作業員への教育指導及び監視カメラを増台 ・品質管理の徹底による不良製品の発生を低減 ・生コンの余剰ロスを減らすべく、生産予測精度向上への指導		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・鉄筋くず、木くず、段ボール、コン殻、混合物の分別 ・現場作業員の生活系廃棄物の持ち帰り実施 ・現場作業員への分別指導・教育の実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・鉄筋くず、木くず、段ボール、コン殻、混合物の分別強化 ・シュレッダーを購入し、紙ごみを資源ごみとして ・現場作業員への分別指導・教育の実施

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
・生産の過程で余ったコンクリートを使用し、出荷等にて使用する錘の製作		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
・実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
・自社排水処理場にて汚泥の脱水処理を行っている。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		
・実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
・実施していない		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
・実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組)	
・電子マニフェストの導入 ・委託業者への定期的な現地確認の実施		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組)	
	・委託業者への定期的な現地確認の継続 ・可能な限り優良認定業者への委託	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います

 記入不要です

項目		廃棄物の種類 現状/計画	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	合計量 (t)	
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	13号廃棄物	建設混合廃棄物		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																						0	
		今年度目標		460	0.5			20		1250						75								28	1833.5
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																							0
		今年度目標		230	0			0		0						0								0	230
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																						0	
		今年度目標		230	0.5			20		1250						75								28	1603.5
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																							0
		今年度目標																							0
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																							0
		今年度目標						20		1250						75								28	1373
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																							0
		今年度目標																							0
⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																							0	
	今年度目標				0.5																			0.5	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。